

公益社団法人 日本青年会議所	
四国地区 徳島ブロック協議会	
会長 上田 勝大	
現 状 分 析	現在徳島県は73万人と減少傾向にありますが、県内各所にサテライトオフィスの誘致によって新たなワークスタイルを発信している地域となっています。選挙離れや過去のものとなった南海トラフ巨大地震への危機感が薄れており、県民幸福度向上に、SDGsを活用する自治体が増えてきているが、県民レベルではまだ進んでいない。
目指すべき状態	<ul style="list-style-type: none"> ■今まであった組織と違い、限られた時間の中で充実したJC活動ができる状態。 ■一人ひとりがJCの魅力を理解し、積極的に会員拡大の行っている状態。 ■行政等と連携して地域全体にSDGs達成への意識が向上し、県民幸福度が高い状態。 ■県民の投票意欲が上がり、当事者意識を持って選挙に参加している状態。 ■安全保障に正しい知識を持ちインフラの安定や食料安全の確保がなされている状態。
連 携 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ■柔軟かつ開放的な組織改革を行うための事業の実施 組織改革会議から提案された改革プランを組み合わせブロック協議会が支援し、LOMの組織改革を提案・支援します。 ■会員拡大の支援 各LOMへ毎月会員拡大の現状を報告していただき、さらにブロックにて拡大候補者の取りまとめを行い、会員拡大に対する意識改革の伝承を展開します。 ■地域社会でSDGsを達成していくための事業の実施 多くの県民が生活内にSDGsが有ることに気が付かずSDGsの活動を行っているため、各委員会でSDGsを推進した運動を行い、SDGs体験事業を実施します。 ■選挙における各種討論会の実施 2019年7月に行われた参議院選挙にて全国の投票率ワースト1位でした。公開討論会を行うことで県民の投票意識が向上させる場の提供を行います。 ■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の実施 多面的な安全保障を確認し徳島県の強み弱みを理解する場に、インフラの確保、食料の確保を促す事業を展開します。
S D G s	【9、16、17】
政 策 手 法	<ul style="list-style-type: none"> ■柔軟かつ開放的な組織改革を行うための事業の実施 各LOMの負担軽減のために、過去の徳島ブロック運営手法にとられない運営を行い、各LOMに発信することで、未来の県下7LOMが一つになることとなります。 ■会員拡大の支援 徳島ブロックの会員拡大するために、各LOMの取組状況を把握し全国の拡大成功事例を用い会員拡大に対する意識を伝播することで、各LOMの会員拡大に対する意識が向上することとなります。 ■地域社会でSDGsを達成していくための事業の実施 SDGsを県内に広めるために、各委員会でSDGsを推進しブロックとしてSDGs体験事業を構築することで、JCメンバーはもとより県民や企業が率先して行動することとなります。 ■選挙における各種討論会の実施 投票により家庭の環境や社会をよくなることを自覚するために、公開討論会を行うことで、投票の意義を理解し有権者としての責任を全うすることとなります。 ■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の実施 県民の安全意識を向上させるために、想定しうる安全対策を日頃から行うことで、民間レベルでのインフラの安定確保と食の安全確保が出来ることとなります。
パートナー	徳島県(政策協力) 市町村(政策協力) 商工会(実施支援) 商工会議所(実施支援) 徳島大学(推進支援) 四国大学(推進支援) 徳島文理大学(推進支援)